

NY マーケットレポート (2017年5月12日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高、消費者物価指数が市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは軟調な動きとなった。特に、米小売売上高は、前月からの大幅改善が見込まれていたものの、市場予想を下回る結果となったことで、米国の利上げペース加速の思惑が後退し、ドルは主要通貨に対して下落した。

また、米株価の下落や米債券利回りの低下も加わり、ドル売り・円買いとなったことから、クロス円も軟調な動きとなった。そして、ユーロは、ドイツの第1四半期 GDP の伸びが拡大したことが好感され、NY 市場でもドルや円に対して堅調な動きが続いた。

2017年5月12日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.60	113.95	113.55
EUR/JPY	123.41	123.79	123.32
GBP/JPY	146.12	146.80	146.00
AUD/JPY	83.93	84.07	83.80
EUR/USD	1.0863	1.0874	1.0856

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.92	113.57
EUR/JPY	123.88	123.39
GBP/JPY	146.45	145.94
AUD/JPY	84.19	83.92
EUR/USD	1.0878	1.0861

* 東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.28	113.89	113.21
EUR/JPY	123.82	123.95	123.59
GBP/JPY	145.97	146.42	145.81
AUD/JPY	83.71	84.19	83.70
NZD/JPY	77.72	77.96	77.55
EUR/USD	1.0931	1.0934	1.0871
AUD/USD	0.7390	0.7421	0.7379

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20896.61	-22.81
S&P500	2390.90	-3.54
NASDAQ	6121.23	+5.27
日経225 (CME)	19815	-50
トロント総合	15537.88	-12.67
ボルサ指数	49426.08	-104.45
ボベスパ指数	68221.94	+684.32

5/15 経済指標スケジュール

08:50	【日本】4月国内企業物価指数
10:30	【オーストラリア】3月住宅ローン約定件数
10:30	【オーストラリア】3月投資貸付
11:00	【中国】4月小売売上高
11:00	【中国】4月鉱工業生産
11:00	【中国】4月固定資産投資
15:00	【ノルウェー】4月貿易収支
15:00	【日本】4月工作機械受注
16:00	【トルコ】2月失業率
16:15	【スイス】4月生産者輸入価格
21:00	【ポーランド】3月経常収支
21:00	【ポーランド】3月貿易収支
21:30	【米国】5月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:00	【カナダ】4月中古住宅販売件数
23:00	【米国】5月NAHB住宅市場指数
05:00	【米国】3月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1227.70	+3.50
NY 原油	47.84	+0.01
CME コーン	371.00	+1.75
CBOT 大豆	963.00	-3.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.286%	1.355%
3年債	1.487%	1.548%
5年債	1.848%	1.918%
7年債	2.131%	2.199%
10年債	2.327%	2.391%
30年債	2.987%	3.030%

ドイツ10年債	0.391%	0.432%
英国10年債	1.086%	1.159%

5/15 主要会議・講演・その他予定

・ 欧州議会本会議 (～18日)

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4 月ポーランド消費者物価指数(前月比) 0.3% (前回 0.3%)

4 月ポーランド消費者物価指数(前年比) 2.0% (前回 2.0%)



出所 : Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

4 月米小売売上高(前月比) 0.4% (予想 0.6%・前回 0.1%)

前回発表の-0.2%から 0.1%に修正

4 月米小売売上高[除自動車] 0.3% (予想 0.5%・前回 0.3%)

前回発表の 0.0%から 0.3%に修正



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

≪米小売売上高≫

	4月	3月	2月	1月	12月	前年同月
小売売上高	0.4	0.1	-0.2	0.5	0.9	3.1
除く自動車	0.3	0.3	0.1	1.1	0.3	3.8
自動車・部品	0.7	-0.5	-1.5	-1.6	3.1	4.4
建設資材等	1.2	-1.7	2.7	1.4	0.9	9.3
食品・飲料	-0.3	0.7	0.0	0.7	-0.4	2.3
総合小売店	-0.5	-0.2	-0.7	1.4	-0.2	-0.7
大規模小売店	0.2	0.1	-0.7	1.1	-0.5	-3.7
無店舗小売店	1.4	1.1	0.8	0.3	1.6	11.9
その他小売店	0.1	-0.4	0.5	1.0	0.0	1.8

(前月比%)

4月の米小売売上高は、市場予想の+0.6%を下回る前月比+0.4%の4749億4800万ドルとなり、2ヵ月連続のプラスとなった。前年比は+4.5%となった。前回結果は、当初の前月比-0.2%から+0.1%に上方修正された。変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は+0.3%と、市場予想の+0.5%を下回った。前年同月比では+4.5%となった。品目別では、自動車・同部品が+0.7%、ガソリンスタンドが+0.2%、建材・園芸が+1.2%、電子・家電が+1.3%、家具・装飾は-0.5%、食品・飲料は-0.3%。

21:30

≪ 経済指標の結果 ≫

4月米消費者物価指数(前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 -0.3%)

4月米消費者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.2%・前回 -0.1%)

4月米消費者物価指数(前年比) 2.2% (予想 2.3%・前回 2.4%)

4月米消費者物価指数[コア](前年比) 1.9% (予想 2.0%・前回 2.0%)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg ※前年比

指標結果データ

《消費者物価指数》

	4月	3月	2月	1月	12月
全品目	0.2	-0.3	0.1	0.6	0.3
除く食品・エネルギー	0.1	-0.1	0.2	0.3	0.2
エネルギー	1.1	-3.2	-1.0	4.0	1.2
サービス	0.2	-0.1	0.3	0.3	0.3
食品・飲料	0.2	0.3	0.2	0.1	0.0
居住費	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3
医療費	-0.2	0.1	0.1	0.2	0.2
娯楽費	-0.1	0.0	0.6	0.4	0.0

4月の米消費者物価指数は、前月比+0.2%となり市場予想と一致した。前年比では+2.2%となった。3月は前月比で13ヵ月ぶりのマイナスとなったが、4月は持ち直す結果となった。変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.1%となり、市場予想の+0.2%を下回った。前年比では+1.9%となった。エネルギー価格は前月比+1.1%となり、ガソリンが+1.2%となった。食品は+0.2%、食品・エネルギー以外では、住居費などが値上がりした。また、自動車は新車、中古車ともに前月に引き続き値下がりした。

22 : 00

< 経済指標の結果 >

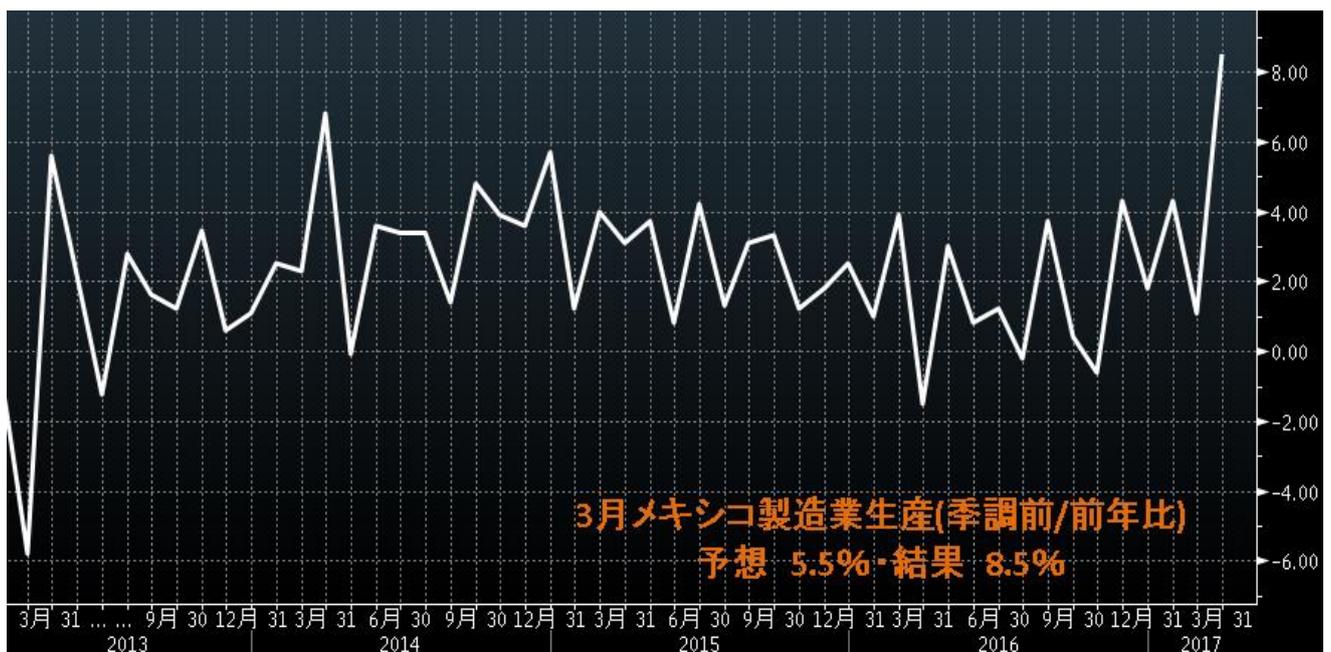
3月メキシコ鉱工業生産(季調済/前月比) 0.0% (予想 0.0%・前回 -0.1%)
 前回発表の0.1%から-0.1%に修正

3月メキシコ鉱工業生産(季調前/前年比) 3.4% (予想 2.2%・前回 -1.9%)
 前回発表の-1.7%から-1.9%に修正

3月メキシコ製造業生産(季調前/前年比) 8.5% (予想 5.5%・前回 1.3%)
 前回発表の1.1%から1.3%に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

22 : 10

◀ 要人発言 ▶

エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「インフレ目標達成まで緩やかな政策を維持すべきだ」
- ・「バランスシートの円滑な縮小が賢明かもしれない」
- ・「FRBの空席は、トランプ氏が影響及ぼす可能性を意味する」

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月ミシガン大学消費者信頼感指数 97.7 (予想 97.0・前回 97.0)



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ ミシガン大学消費者信頼感指数 ▶

5月・・・4月・・・3月・・・2月・・・1月・・・12月

消費者信頼感・・・97.7・・・97.0・・・96.9・・・96.3・・・98.5・・・98.2

景気現況指数・・・112.7・・・112.7・・・113.2・・・111.5・・・111.3・・・111.9

消費者期待指数・・・88.1・・・87.0・・・86.5・・・86.5・・・90.3・・・89.5

1年インフレ・・・2.6・・・2.5・・・2.5・・・2.7・・・2.6・・・2.2

5年インフレ・・・2.3・・・2.4・・・2.4・・・2.5・・・2.6・・・2.3

5月のミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は、4月の確報値から0.7ポイント上昇の97.7となり、市場予想の97.0を上回った。現状指数は、112.7と4月確報値から変わらなかった。また、先行き指数は88.1と4月確報値から1.1ポイント上昇となった。そして、1年後のインフレ期待は2.6%で4月確報値から0.1ポイント上昇、5年後のインフレ期待は2.3%と4月確報値と変わらずとなった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米企業在庫（前月比） 0.2%（予想 0.1%・前回 0.2%）
 前回発表の0.3%から0.2%に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀米企業在庫▶

	3月	2月	1月	12月	11月	前年同月比
企業在庫	0.2	0.2	0.3	0.3	0.8	2.6
製造業	0.0	0.2	0.3	0.3	0.5	1.4
小売業	0.5	0.3	0.8	0.0	0.9	3.5
卸売業	0.2	0.3	-0.2	0.8	1.1	3.0
	3月	2月	1月	12月	11月	前年同月比
企業売上	0.0	0.2	0.3	2.1	0.2	6.5
製造業	-0.1	0.2	0.3	2.5	0.3	5.3
小売業	0.1	-0.2	0.4	1.1	0.0	4.9
卸売業	0.0	0.7	0.3	2.4	0.4	9.1

3月の米企業在庫は、前月比+0.2%の1兆8408億3200万ドルとなり、市場予想の+0.1%を上回った。前年比では+2.6%となった。製造業は前月比でほぼ変わらなかったが、小売業、卸売業がともにプラスだった。小売業は、前月比+0.5%、自動車・同部品を除く小売業は+0.3%、卸売業は+0.2%となった。小売業では、自動車・同部品が+0.9%、建材・園芸が+0.1%、総合小売りが+0.4%、服飾が+0.2%、食品・飲料は-0.1%、家具・家電は-0.5%だった。

企業売上高は、前月比ほぼ横ばいの1兆3609億9300万ドル、前年比では+6.5%だった。業種別では、小売業が+0.1%、卸売業はほぼ変わらず、製造業は-0.1%だった。在庫高は売上高の1.35ヵ月分に相当し、前月から横ばいだった。

23 : 40

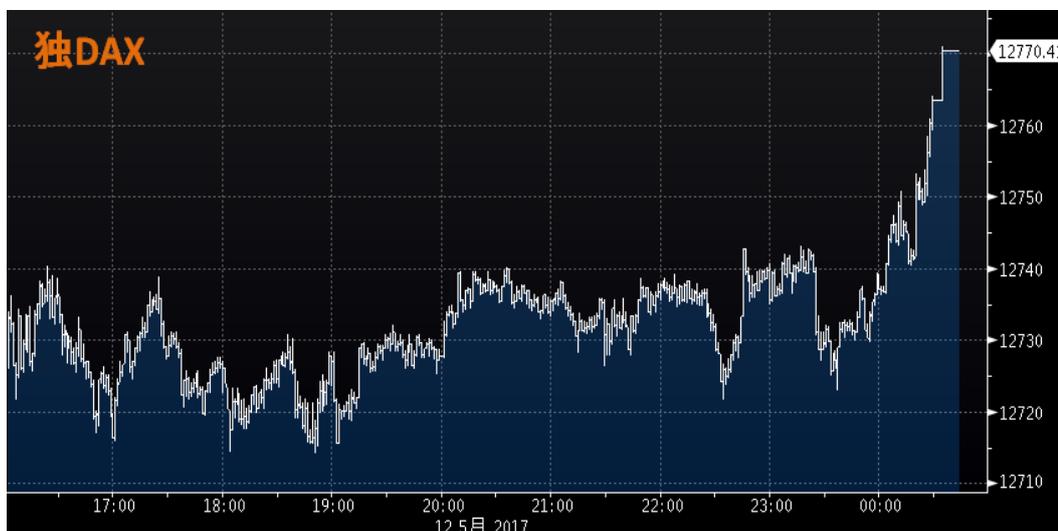
◀ 要人発言 ▶

エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「インフレ見通しが不透明なら利上げは1回でもよい」
- ・「米経済は、第2四半期に第1四半期の弱さを補う可能性もある」

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、企業の業績改善期待や、M&Aの動きが活発化するとの思惑で買いが優勢となり、主要株価は堅調な動きとなった。そして、英 FT100 指数と独 DAX 指数はともに終値の過去最高値を更新した。



出所：Bloomberg

2：50

＜ 要人発言 ＞

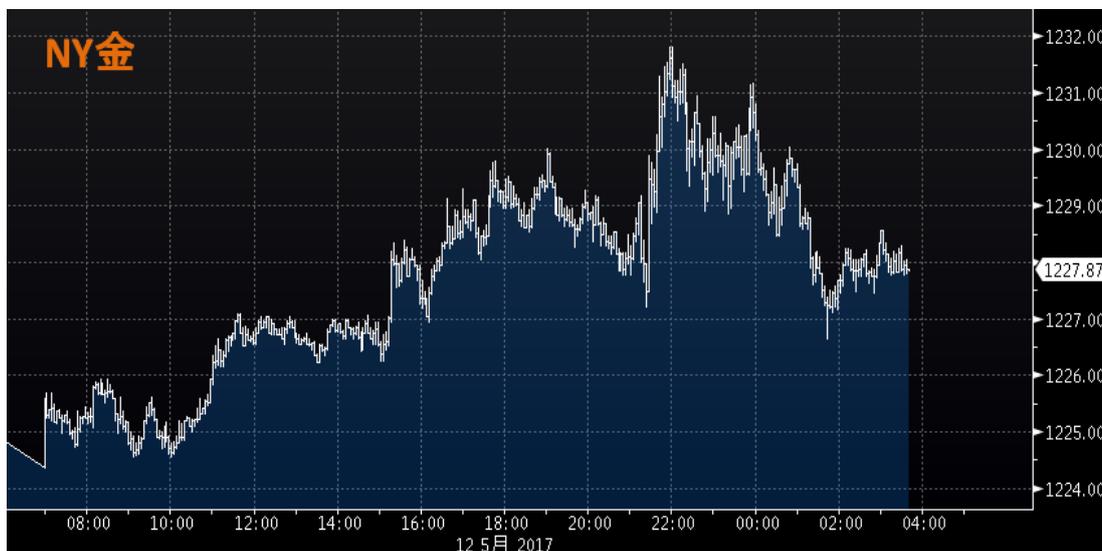
麻生財務相

- ・「米財務長官とは為替の話はしていない」
- ・「IMF に対し中国の資本規制の監視を要請」
- ・「自由貿易は経済繁栄に寄与、逆行させてはならない」
- ・「北朝鮮情勢は危機的と米財務長官に伝えた」
- ・「北朝鮮が非常事態となれば、大量の難民が発生することを指摘」

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 3.50 ドル高の 1 オンス＝1227.70 ドルで取引を終了した。

NY 金は、4 月の米小売売上高が市場予想を下回り、ドルが主要通貨に対して下落したことから、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。また、トランプ米大統領の政権運営に対する不安を背景に、比較的安全な資産としての需要も高まった。

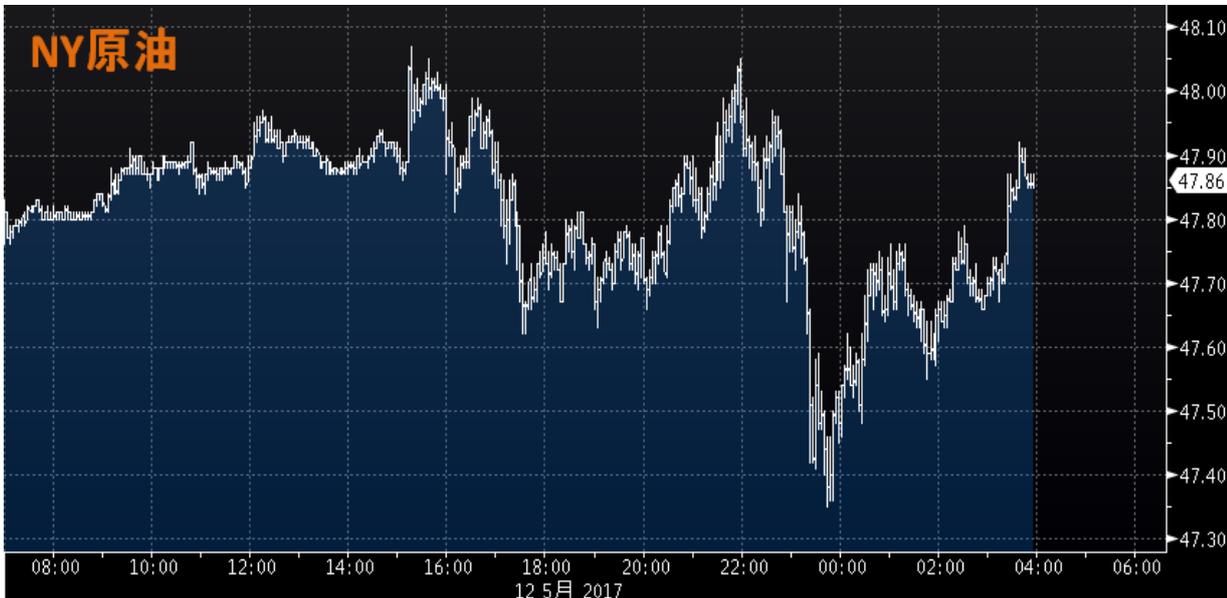


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.01 ドル高の 1 バレル=47.84 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC と非加盟国による協調減産の延長期待を背景に買いが入る一方、米国内の石油掘削装置の稼働数が増加し、米原油の増産懸念が強まったことで売りが出るなど、売り買い交錯する動きが続いた。

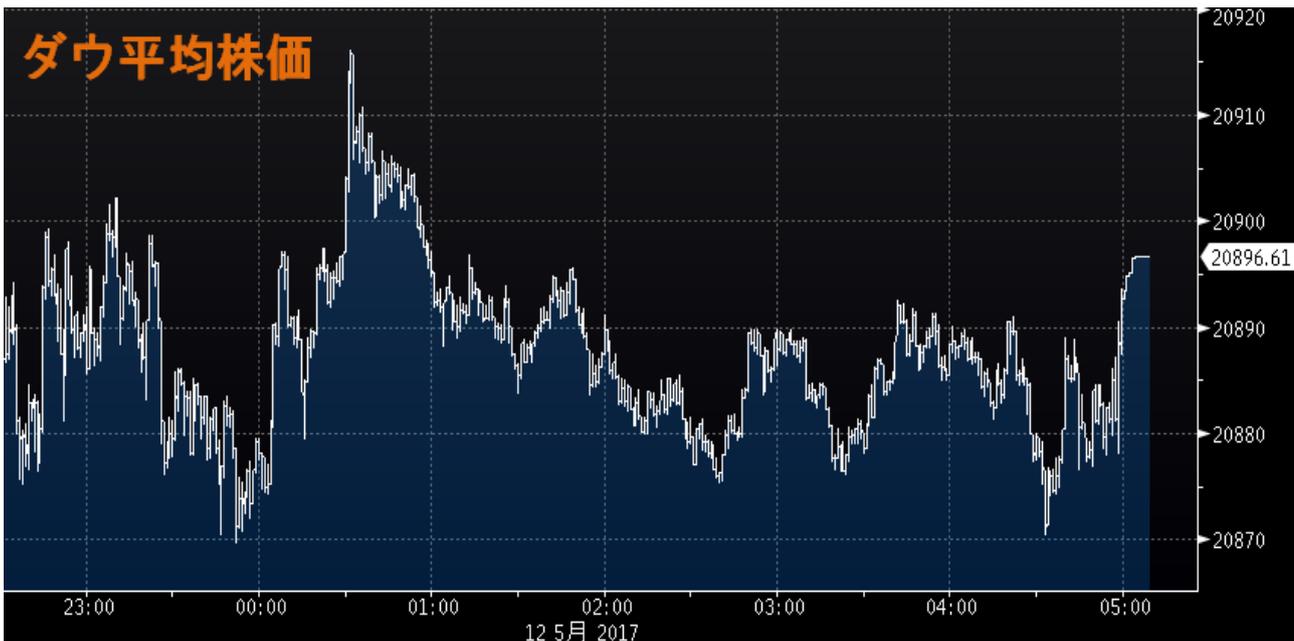


出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、4 月の米小売売上高が市場予想を下回ったことが嫌気され、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。ただ、インターネット通販など百貨店以外の小売業は総じて堅調との見方から買い戻しも入り、下げ幅は限定的となった。

ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 49 ドル安まで下落した。その後は下げ幅を縮小する動きが見られたものの、上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、序盤に発表された米個人消費関連の経済指標が予想を下回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落した。また、米株価や債券利回りの低下も影響し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。